

こもろ 市議会だより

3月定例会

No. **179**
平成31.4.24



小諸キッズレスリングクラブ（明るく、楽しくがモットー）

平成31年度 予算を可決

主な内容

- 3月定例会の概要
平成31年度予算、常任委員会報告
..... 2～7ページ
- 一般質問 代表質問（5名）
個人質問（13名）..... 8～18ページ
- 次回定例会・議会とかたる会のお知らせ
..... 19ページ
- ぼいす（小諸キッズレスリングクラブ）
傍聴席・編集後記 20ページ

平成31年度予算を可決

定例会の概要

期間：2月25日から3月22日（26日間）

議案：平成31年度当初予算ほか全57議案

結果：すべて認定・可決・承認

本定例会では、予算決算委員会において、議員から、平成31年度当初予算の同和对策関係費に対し修正案が提出されましたが、採決の結果、賛成少数で否決となりました。また、保育所建設事業費に対し、議員間討議の結果、予算決算委員会として付帯決議のための発議を行うこととなりました。

予算決算委員会における主な内容については、本紙4～6ページをご覧ください。

当初予算の概要

平成31年度の一般会計の予算規模は、178億6千万円で、前年度比5・9%の増となりました。







複合型中心拠点誘導施設（以下、複合型施設）や消防庁舎等の建設が始まり、歳出が大幅に増加しています。

歳入では、柱となる市税収入については、わずかながらも増額を見込んで

ありますが、大型事業に伴う歳出が大幅に上回ることから、不足する財源を基金繰入に頼らざるを得ない予算編成になりました。

小諸市にとって、今やらなければならぬ事業として予算措置が講じられました。限られた財源の中であり、引き続き健全で効率的な財政運営が行われるようチェックしていくことが必要です。

政策別の支出状況（市民一人当たり 420,344円の支出になります）

<p>1 子育て・教育 24億999万円 一人当たり 56,720円 (前年度比 16,214円減)</p> 	<p>2 環境 15億9,400万円 一人当たり 37,515円 (前年度比 147円減)</p> 	<p>3 健康・福祉 48億6,769万円 一人当たり 114,564円 (前年度比 919円減)</p> 
<p>4 産業・交流 16億6,381万円 一人当たり 39,159円 (前年度比 806円減)</p> 	<p>5 危機管理・生活基盤整備 38億8,026万円 一人当たり 91,324円 (前年度比 42,704円増)</p> 	<p>6 協働・行政経営 34億4,425万円 一人当たり 81,062円 (前年度比 39円減)</p> 
<p>(内) 借金返済 13億6,520万円 一人当たり 32,131円 (前年度比 96円減)</p>		

※人口42,489人で計算（平成31年3月1日現在外国籍住民を含む）

3月定例会概要

任期満了に伴う
人事案件の同意

●人権擁護委員候補者の
推薦

田澤 幸枝氏（赤坂）

小林 正紀氏（平原）

任期は2019年（平

成31年）7月1日から、

2022年6月30日まで

の3年間です。

●小諸市等公平委員会委
員の選任

阿久津正明氏（和田）

任期は2019年（平

成31年）4月1日から、

2023年3月31日まで

の4年間です。

●小諸市固定資産評価審

査委員会委員の選任

宮坂登志雄氏（天池）

任期は2019年（平

成31年）3月7日から、

2022年3月6日まで

の3年間です。

このほか、次の委員会
の委員が選任同意されま
した。

●高峰財産区管理委員会
委員7名

●御牧ヶ原財産区管理委
員会 委員7名

●古牧財産区管理委員会
委員7名

●小諸市滋野財産区管理
委員会 委員7名

意見書

次の意見書を内閣総理
大臣ほか関係省庁へ提出
しました。

●米軍基地負担に関する
意見書

●安全・安心の医療・介
護の実現と夜勤交替制
労働の改善を求める意
見書

討 論

国に対し、消費税10%
増税中止を求める請願書
に対する、総務文教委員
会における不採択の委員
長報告を受け、次の反対
討論がありました。採決
の結果、委員長報告に賛
成多数により不採択と決
しました。

反対討論（早川議員）

安倍政権になって消費
税が8%に引き上げられ
てから、殆どの家庭で家
計の消費支出が前年を下
回っており、経済の低迷
が長引き、国民の暮らし
は、ますます苦しくなり
所得は年間16万円も下が
っている。
一方、大企業は4年連
続最高益で内部留保は40
兆円を超えている。国民
には増税で負担を押し付
け、大企業には4兆円も
企業減税をするなど逆立
ちしている。

本会議における議案の表決結果

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決されました。◎は賛成、⊖は反対を表しています。
議長は、表決には加わりません。

議案名	あたらしい風				市誠会		創正会		日共闘		公明党								
	小林重太郎	中村憲次	清水喜久男	神津眞美子	楚山伸二	高橋充宏	山浦利夫	丸山正昭	小林一彦	高橋公	相原久男	田中寿光	竹内健一	掛川剛	早川聖	土屋利江	柏木今朝男	福島鶴子	田邊久夫
請願第31-2号 消費税10%増税中止を求める請願	⊖	◎	⊖	◎	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	◎	◎	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖

請願の審査結果

種類	件名	氏名	結果
請願	米軍基地負担に関する請願	憲法九条を守るこもろの会 代表 依田 発夫	採択
	国に対し、消費税10%増税中止を求める請願書	浅間民主商工会 会長 橋本 一夫	不採択
	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を 求める請願書	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	採択

予算決算委員会

委員会では、平成30年度補正予算、平成31年度予算を3つの分科会に分け、担当者の説明に對する「質疑」と「意見」で審査をしました。

その後、議員同士による「議員間討議」と、賛成・反対の立場を示す「討論」を行った後、「採決」行いました。

採決の結果、平成30年度補正予算、平成31年度一般会計・特別会計・企業会計予算とも原案どおり可決しました。

審査の中で、平成31年度一般会計予算について1件の修正案が提出されましたが、採決の結果否決されました。

また「保育所統合移転」に関わる進め方に関して「附帯決議」を提出することが全員一致で決まりました。

各分科会で審査した主な議案と質疑・意見

● 質疑

◎ 回答

◆ 意見

〔平成30年度
一般会計補正予算〕

● あぐりの湯こもろの改修の状況はどうか。

◎ 直売所は広さが1.5倍になり、3月23日に竣工式、6月にはオープン記念イベントも計画されている。

◆ 直売所の売り場面積は増えたが、大事なものは品揃えである。行政からも指導してもらいたい。

● 愛のりくんの利用者増加に伴い、タクシー応援の出動回数が増えているが、事業費にどのくらい影響があるのか。

● 高峯聖地公園合葬式聖地の状況はどうか。

◎ ふるさと納税の返礼品にしたことで注目され申し込みが急増し、すでに埋葬が難しい状況である。早急を増設することを考えている。

〔平成31年度
一般会計予算〕

● 図書館運営業務が委託となるが、どうなるのか。

◎ これまでの事業はすべて引き継がれる。さらに受託事業者の企画により、イベント回数は増える予定である。

● ファミリーサポートセンター運営委託料とは。

◎ 子どもを預けたい会員と預かって良い会員のマッチング等を行うアドバイザーの人員費が主なものである。

● 高齢者タクシー助成事業は、複合型施設が整備されたあとは廃止になるのか。

◎ 現在その事業は延長しているが、複合型施設の完成により高齢者の利便性は高まる上に、デマンド交通事体の利便性向上も検討しているため、そこまでの延長としたい。

● 当初応援は月70台程度で15万円をみこんでいたが、現在月200台を突破し、月の影響額は45万円程度である。燃料費の高騰や修繕費もかさんでいる。

◎ アナログ波は平成34年11月に全面停止となるため、使えなくなる。今後対応を検討する。

● 野良猫不妊去勢手術費補助事業は補助申請が予算を上回ったかどうか。

◎ 財源はクラウドファンディングを予定している。十分財源を確保できれば増額する予定である。

● 相生町2・3丁目交差点改良事業の補償・賠償に関わる対象物件数は。

◎ 対象物件は1件で、対象者は2名である。

● 対象物件は他の建物とつながっているが1件だけで大丈夫か。

◎ コンクリートの劣化の検査を行った結果、劣化は認められないため大きな影響はないとの判断である。

● 南城公園プールは20万円弱の収入しかないのに、毎年2千万円余の経費をかける価値があるのか。

◎ 生活道路等整備費用の予算が大幅増であるが、改良場所の考え方はどうか。

◎ 場所の選定は検討中である。できる限り、やれるところはやりたい。地域の状況も十分考慮した上で方向付けのことうか。

◎ 毎年1万人以上の利用者があることある。平成32年度には方向性を出していく。

◎ 平成29年度は、講習82回で、受講者は2千462名であった。自治会等から申請があれば器具や人形を持参し実施する。

◎ AED講習の実績はどうか。

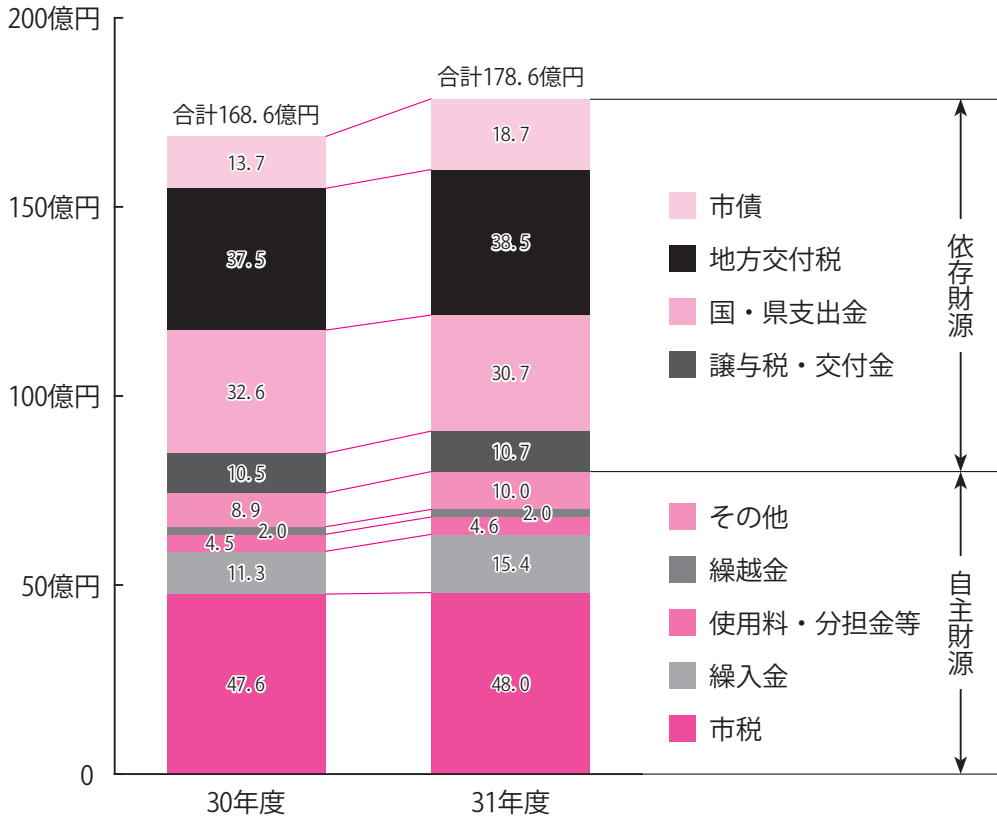
◎ 平成29年度は、講習82回で、受講者は2千462名であった。自治会等から申請があれば器具や人形を持参し実施する。

◎ 生活道路等整備費用の予算が大幅増であるが、改良場所の考え方はどうか。

◎ 場所の選定は検討中である。できる限り、やれるところはやりたい。地域の状況も十分考慮した上で方向付けのことうか。

一般会計予算 昨年度との比較

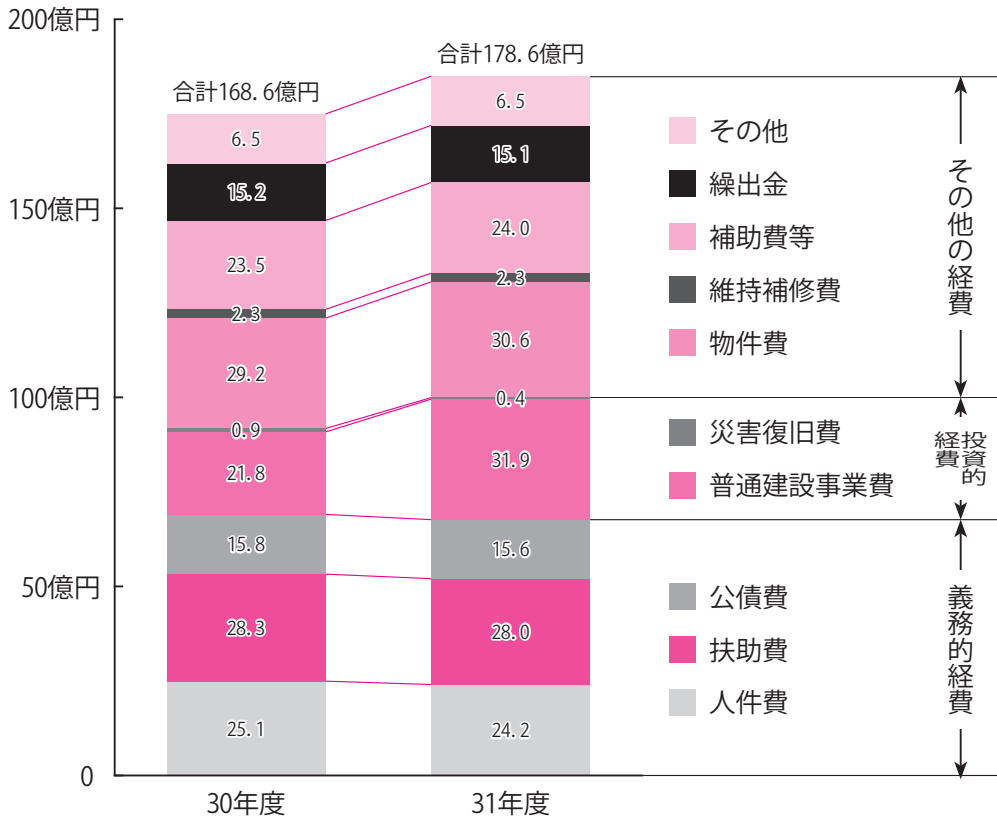
歳入



●予算について
 ・消防庁舎整備
 ・複合型施設整備などの大型事業があるため増額しています。

●歳入について
 ・起債（借金）をする際には、地方交付税として戻ってくる割合が多い有利な起債を検討し、活用しています。

歳出



●総合計画に掲げられた6つの政策
 ・子育て・教育
 ・環境
 ・健康・福祉
 ・産業・交流
 ・生活基盤整備
 ・協働・行政経営を中心に、財源を効率的に活用する予算を議決しました。

● 芦原・中央保育園の統合移転場所を短期間で決めた経過はどうか。またなぜ南城50メートルプール跡地なのか。

◎ 「公立保育園の整備充実に関する検討会」の中で緊急性のある中央保育園と芦原保育園の再構築を優先的に検討することになった。移転場所は最終的に南城50メートルプール付近と郷土博物館周辺の2案になり、再度の審議、現地確認を経て南城を候補地として選定した。

懇談会等で市民からもらった意見を含めながら基本方針をまとめた。13カ所の候補地を2カ所に絞る過程でもっと幅広く意見を募る必要があったのではないかと多くの検討をしてきたことはわかったが、市民に向けた情報提供や市民的議論が非常に少なかつたと感じる。

【平成31年度一般会計予算に対する付帯決議（要旨）】

現在進められている長期学校改築計画をはじめ、施設の新設、統廃合、複合化、移転、改築等の事業にあたっては、市民からの意見聴取、審議経過等についての情報開示を十分に行い、市民合意を積み上げながら進められたい。

・ 早川委員ほか1名からの同和関連予算の修正案（否決）

同和関連予算493万円は差別解消につながらないため、予備費に入れておき、福祉・教育など公平性のあることに振り向けるべきである。

・ 反対討論（高橋充委員）

「部落差別の解消の推進に関する法律」では、部落差別があることを公的に認めている。地方公共団体の責務として予算は認めるべきである。

・ 反対討論（山浦委員）
未だに同和地区の存在を問い合わせる電話やインターネット上の差別事象など部落差別の解消が図られていない。引き続き取り組むべきである。

・ 賛成討論（掛川委員）
同和差別はあらゆる差別の中の一つとしてとらえ、特別扱いすることなく差別解消の方策を講じ、多額の補助金等は削減すべきである。

【平成31年度野生鳥獣商品化施設特別会計】

● 商品売り上げ収入の内訳はどうか。

◎ 概算で、人食用の鹿肉が20万円、「こもろブレミアム」のドライフード・ジャーキー・アキレス腱・角等が20万円、ペットフード原料が926万円、ふるさと納税の返礼品としての売り上げが82万円など合計約1千500万円の収入になっている。

【平成31年度介護保険事業特別会計】

● 「地域包括支援センター設置事業」とはなにか。

◎ センターは現在1か所だが高齢者が年々増えて対応できなくなってきたおり増設を考えている。中学校区単位で2ヶ所の設置を考慮しており、受注業者への委託料を見込んでいる。

【平成31年度公園事業特別会計】

● 懐古園の土地の借上料は、地籍調査によって変更はあったのか。

◎ 懐古園に対する懐古神社の面積比がおおむね20%であることが借上料千200万円の根拠となっている。

地籍調査による登記が完了しておらず、まだ小諸市が神社側から借り受ける土地の面積が確定していないため、協議中である。

予算決算委員会における議案の表決結果

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決されました。◎は賛成、●は反対を表しています。議長及び予算決算委員長は、表決には加わりません。

議案名	あたらしい風				市誠会			創正会		日本共産党		公明党								
	小林重太郎	中村憲次	清水喜久男	神津眞美子	楚山伸二	高橋充宏	山浦利夫	丸山正昭	小林一彦	高橋公	相原久男	田中寿光	竹内健一		掛川剛	早川聖	土屋利江	柏木今朝男	福島鶴子	田邊久夫
議案 8 号 平成31年度小諸市一般会計予算	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

3月定例会概要

条例の一部改正等 21件を可決

条例の設置及び一部改正や請願等について、次の各常任委員会で審査を行いました。主な議案やそれに対する質疑と答弁についてご報告します。

総務文教委員会

小諸市消防庁舎建設工事請負契約を可決

平成31年3月7日、入札参加要件付き一般競争入札で業者を決定したもので、契約金額は10億5千800万円で、契約の相手は千曲市の『中信建設株式会社』である。工期は平成32年4月30日まで。

質疑 審査一般競争入札とのことだが、どのように確認しているか。

答弁 入札参加要件付き一般競争入札なので、入札参加申請の段階で確認している。

小諸市一般職の任期付職員の採用等に関する条例を可決

一度退職した保育園の園長の再雇用制度について、必要不可欠なことであることから可決しました。

質疑 再任用制度で対応できなかった理由はなにか。

答弁 今年度、当該退職予定者に再任用の意向を確認したが、希望が無く対応できなかった。

質疑 どのくらいの任用期間を想定しているか。

答弁 保育園再構築がされると1園減少する。それまでの間を想定している。

福祉環境委員会

小諸市健康福祉審議会条例を可決

社会福祉法に規定する市町村地域福祉計画の策定のため、審議会を設置し、関連する高齢者計画等の既存計画と整合を図り、計画の進行管理を行います。

質疑 市民はどの程度関与できるのか。

答弁 条例で定める中に市民公募を予定している。また、高齢者計画や障害者計画等の既存の個別計画の中にも、それぞれ公募による市民が組み込まれているので、意見の聴取は可能と考える。

小諸市地域医療に従事する医師を確保するための奨学金貸与条例の一部を改正する条例を可決

地域医療に従事する医師を長期間確保するため奨学金貸与対象者の見直しを行うほか、医師研修制度の変更に伴い、猶予期間を見直す等の改正を行います。

経済建設委員会

小諸市農家組合設置条例を廃止する条例についてを可決

農家へ速やかに情報を伝達することを役割の中心としていた農家組合について、防災無線、インターネット等によりその役割を代替えることが可能になったことから、条例を廃止するものです。

質疑 条例廃止に農家組合員は納得しているのか。

答弁 区長会を通じて説明を行ったが、特に異論はなかった。

小諸市水道施設等の指定管理者の指定についてを可決

「地方自治法」並びに「小諸市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例」に基づき指定管理者を非公募により選定したものです。

指定管理者として指定するのは「(株)水みらい小諸」(小諸市大手)で、期間は平成31年10月1日から4年6カ月とするものです。

質疑 事務所が移転することはあるのか。

答弁 現在の場所は仮事務所のため、今後移転する予定である。



「(株)水みらい小諸」の仮事務所 (旧臨時図書館)

一般質問

代表質問 5名

個人質問 13名



重要事業は最初から情報開示と市民参加で

日本共産党 代表 掛川 剛

質問

複合型中心拠点誘導施設、中央・荻原保育園移転統合、水道事業公民共同企業体への業務委託など大きな事業を計画当初から市民に情報公開しないで進めてきた。この手法を自治基本条例の基本原則に照らしてどう考えるか。

市長

参加と協働は、それ自体が目的ではなく、まちづくりを進める上での手法と理解している。

質問

行政が最初に素案を示し、それをうけて市民が検討していくという手法は、協働のまちづくりを進める上で市民の意識向上が図られないか、と考えるかどうか。

市長

ゼロから市民の皆さんと立ち上げていくケースと、予算・補助金等の関係で、ある程度庁内で素案をつくってから市民の皆さんと議論していくような様々なケースがあってもよいと思っている。

質問

大型事業が市民に情報開示されるときは既に補助金などが決まってしまうという後戻りできない状況になっている。それでは参加と協働のまちづくりは進まない。それもやむを得ないということか。

市長

財政的にも有利なものを利用していくことが市民の福祉向上につながるという思いから、ある程度の素案をつくり、ある段階に来てから市民の皆さんと共有していくという形をとっている。

意見

情報開示がされた時にはもう後戻りできない状況になっている。これから大きな事業が出てくるがこのようなやり方を優先してしまわない。改めて考えなければならぬ問題だ。

質問

太陽光発電のあり方について、諏訪山区では区民の9割が反対の意思表示をしている計画に対し、

市はその意思を尊重した対応をしていないように思えるかどうか。

市長

ガイドライン見直しと指導要綱の策定を、各課の精鋭が集まった庁内プロジェクトにより行った。

質問

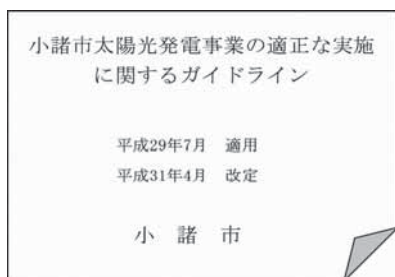
どんなに良いガイドラインや指導要綱をつくっても行政指導がきちんとは行われないと意味がない。今の職員体制で十分な対応ができるのか。

環境水道部長

市長から全庁挙げて取り組むよう指示をうけ、一担当に全部を任せることなく組織として対応することを確認している。

意見

50kW以上は協定締結が義務付けられたが、くれぐれも区長負担にならぬようアドバイスを。





市長の施政方針を質す！

あたらしい風 代表 小林重太郎

質問

長期学校改築計画について。

小諸の将来の姿を描く大切な課題だ。しっかりと議論を尽くし、きちんとした市民合意の得られるような進め方をすべきと考える。

市長として、とても重い責任を感じるのはないか。

市長

その通りだ。小諸としてどういう形で子どもたちを育てていけるのか。そういった部分で、この長期学校改築計画のあり方、また検討というのは、本来の意味で行政だけではなくて市民の皆さんとともに議論を重ね、いいものにしていかなければならない。

質問

教育委員会、あるいは小諸市としても、どことどここの統合などということは、まだいっさい言っていない。まさに白紙であるということを確認したい。

教育長

まったたくの白紙だと申し上げて大丈夫だ。

質問

高地トレーニングについて。

東海大学の箱根駅伝優勝などは明らかな話題ではあるが、地域との交流、観光客の増加、交流人口の増加、地域の活性化などがまだ見えてこないが、どうか。

市長

小諸市の経済や観光にどのような部分で、そしてつなげるかという部分では、まず実績をあげること、それが重要だ。

また、市民の健康づくりという分野でも着実に関係機関と連携できるような取り組みをしていく。

質問

企業誘致について。

サテライトオフィス、テレワークは、自然環境に恵まれているが坂など不利もあるという中において、新しい可能性として期待あり、と考えている。働き方改革で総務省が進めている政策を市長が着目したということか。

市長

様々な形での可能性、また小諸

のハンデを克服できる取り組みではないかと着目した。

質問

子育て環境の整備について。

施政方針で、子どもの貧困、いじめ、不登校、児童虐待防止などが出ていないのは残念だ。

文言には表れていないが、市長の認識にはしっかりとある、ということでしょうか。

市長

子どもを取り巻く問題として、

全国的に課題となっている子どもの貧困、いじめ、不登校、児童虐待防止などについても、重点的に取り組む必要があると考えている。

2月には総合教育会議を開催し子どもを取り巻く諸課題について、教育委員会と意見交換を行った。

庁内の関係部署・学校・家庭・地域で課題を共有し、連携した対応や支援に取り組んでいく。

質問

こもろキャンパス構想について
会派「あたらしい風」として提案する。

空き店舗などを活用しパソコンやネット環境などを充実。研究や論文のために小諸に来た学生が日常的にそこに集い、ワイワイやり

ながら調査、研究などを進められる場所「サテライトキャンパス」を整備してはどうか。

市長

大変ありがたい提案だと思う。

質問

行政経営について。

「戦略的で効率的な行政経営の推進」に挙げられた18事業、全てをアウトソーシングするという前提で検討していくのか。

企画課長

いったんは市の全事業について検討する。当然やるべきでないという事業もある。

意見

アウトソーシングも非常に大きな問題だ。市民への情報開示及び合意を含め、しっかりとした段階取り、的確な判断を望む。





平成31年度施政方針を受けて

市議会 代表 山浦利夫

質問

複合型中、心拠点誘導施設整備事業の基本計画が昨年9月に策定された。事業の基本的な考えで将来にわたる暮らしやすさを確保するために、多極ネットワーク型コンパクトシティの形成に取り組むとしているが、どう取り組むのか。

市長

2点ほど大きなテーマがある。一つは、公共交通ネットワークの構築に向け、こもろ愛のりくんと愛のりすみれ号の運行改善で、もう一つは、拠点施設のにぎわいを中心市街地へと展開する取り組みである。

質問

コミュニティ交通の利便性の向上、また運行の効率化は、どのように考えているか。

建設部長

利用者が増えている反面、タクシーによる応援が増加しているという課題がある。持続可能な公共交通には運行の効率化は検討しなければならない点だと思ってい

る。応援便数の低減や運行路線の見直し、運行形態など、31年度中には検討を始めたいと考えている。

質問

拠点施設の賑わいを中心市街地へ展開する取り組みは、どのように考えているか。

市長

官民が連携した利便性が高く、賑わいとなりわいが創出された拠点の形成が図られるよう、調査、研究を行っていく。

質問

産業団地の早期整備について、これまでも一般質問で提言してきたが、産業団地を造成しての企業誘致には慎重になっていると感じるが、どのように考えているか。

経済部長

現在、産業団地の造成計画の策定業務を進めているが、基本的には産業団地の造成には、非常に多額の経費が想定される。リスクなどを考えると、今の時点ではオーダーメイド方式のやり方が良いかと考えている。

質問

産業団地や企業誘致を進めていく上で土地を所有するということがリスクも当然出てくる。小諸市の将来を見据えたビジョンをもつて長期的な視点で取り組んでいくことが大事であるが、どのように考えるか。

市長

小諸市においてどんな産業団地にどんな企業を誘致するかを考えるには、しっかりと戦略に基づく小諸市の特徴を活かした計画を作らなければいけない、と考えている。

質問

人口減少社会を迎え、小諸市が将来にわたり自律的で持続可能な自治体であり続けるためには、行財政の効率化、選択と集中は必要だと考えるが、どのように取り組んでいくのか。

市長

優先順位付けや効率化などによる業務の見直しや、積極的な民間活力の利用を進めるとともに、限られた労力の中で、人材の有効活用を図る取り組みも併せて行っている。

質問

小諸市公共施設等総合管理計画における「個別施設実施計画」の策定の取り組みはどうか。

市長

自律的で持続可能な自治体であり続けるためには、公共施設においても総量縮減、有効活用、管理の適正化という視点で個別施設計画の策定を進めている。

質問

今後、廃止か統合するのかが等、具体的に変わってくる中では、市民生活への影響は大きいと考えられるが、どう取り組んでいくのか。

企画課長

個別実施計画の策定の期限は、平成31年度である。この期限の中で方向性を出せるか難しい。市民のご意見をお聞きしたりして時間がかかることだと思っている。





平成31年度の施政方針をうけて

公明党 代表 土屋利江

質問

複合型中、心拠点誘導施設に整備する病児病後児保育施設の経営とファミリーサポートセンターの運営についてどうか。

市長

病児病後児保育施設は、3階の子育て支援フロアに整備し、こもる医療センターの院内保育施設と併設し、医療センターによる施設の一体的な経営を行う。

質問

市単道路等整備事業が昨年の予算より8割増の予算付けとなっているがどのように進めていくのか。

市長

道路等の整備事業を進める上で緊急性はあるか、防災・減災効果はあるかなど5項目により評価を行い、市内全体で優先順位を決め実施していく。

質問

実施優先順位基準をどのように検討していくのか。

建設部長

道路パトロールを行う中で、周辺地域の道路状態が非常に悪い。安全性を確保・維持していく観点から、周辺部区域の生活道路を中心に集中的に補修整備を実施する。

質問

認知症高齢者等に優しい地域の実現には国を挙げての取り組みが必要だがどうか。

市長

認知症を含む高齢者に優しい地域づくりとして、高齢者の靴に貼る反射ステッカーの配布、高齢者見守り事業所の登録、認知症カフェの開設資金の補助、認知症講演会など認知症施策に取り組む。

質問

県内市町村の民生児童委員約5千人が中高年のひきこもり実態調査を実施している。実態はどうか。

市長

2月1日現在、民生児童委員が

把握をしているひきこもり状態の方の性別や年齢等について、調査表へ記入し集計するものである。今後の対策への参考としたい。

質問

保育園給食の調理員は全員が臨時職員であり、離職も多いことから専門業者への委託検討を進めるとあるが、どのように進めるのか。

市長

行政の雇用環境の変化から調理業務に正規職員の配置が困難となり、臨時職員に頼った調理体制を維持している。給食調理業務の委託については、他市の状況を参考



上水道事業の公民共同企業体で料金値上げは

創正会 代表 相原久男

質問

市では上水道事業の料金徴収や給水関連業務、施設の維持業務などの日常業務を第3セクター「公民共同企業体」に委託する準備を進めており議会でも承認している。

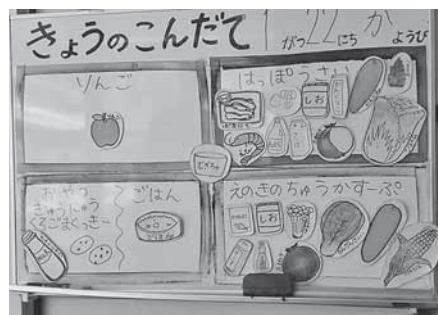
市長

公民共同企業体は、業務の一部を民営委託するもので民営化ではない。

運営主体は小諸市となっており、料金水準の決定は市が行うとしているが、水道事業の民営化と混同する市民がいる。また、それに伴う料金値上げを心配する声がある

にし、具体的な検討を進めていく。委託を進めていくには、現場の職員の方々の意見を十分に聞き、慎重に進めていただきたい。

意見



保育園の献立表

料金については、人口減少や施設老朽化などの現状を踏まえ、水道料金の値上げは長期的には避けられない。しかし、民間的な観点で効率的な事業運営をしていくことにより料金改定の時期を遅らせ

代表質問



野馬取水源地

たり、改定幅を小さくできるなどの効果を期待できる。

事務所の場所、連絡先等が決定し、運営方針の詳細が決まり次第、市民の皆様には地域ごとに、また地元工事業者の皆様には機会を設け丁寧な説明を行う。

質問

「音楽のまち・こもろ」事業について、市長の思い、今後の取り組み方針はどうか。

市長

音楽には人に元気や勇気、また癒しや潤いを与え、人生を豊かにする力がある。まち中に音楽があふれ、人々が音楽を楽しみ、生き生きと暮らしている「音楽のまち・こもろ」を実現するため、本事業には特に力を入れたい。

今後の取り組み方針は、個々の

音楽団体などの取り組みに、市全体で情報共有を図り、民間が主催する音楽関係イベントに「音楽のまち・こもろ」の冠を付して開催するなどして、「オールこもろ」による音楽があふれるまちづくりが必要と考える。

質問

御影用水（軽井沢町千ヶ滝西地区）の越流災害に対する今後の取り組み方針はどうか。

市長

越流による崩落現場ののり面復旧工事は、国の補助事業の中から地域農業水利施設ストックマネジメント事業及び農業水路等長寿命化・防災減災事業を活用し、来年3月の竣工を目指したい。

補償交渉では、対象となる被災者、法人3社、個人13名と交渉を進め法人2社、個人7名とは覚書または確認書による和解が成立した。甚大な被害となった方々には冷静な交渉が困難であること、損害賠償額が多いため、本市の代理人となる弁護士を立て交渉を続けた。相手弁護士より訴訟手続きのもとで和解交渉を進めたこととの申し出があり現在係争中である。

個人質問



佐久平駅アクセス道路構想 現在の状況は

高橋 公

質問

私は佐久平駅アクセス道路について定期的に取り上ることとしている。前回の平成30年6月以降の佐久建設事務所や佐久市および地元地域の動向を報告願いたい。

市長

佐久市については、現時点ではルートは未定であるものの、関係区の区長の了解のもと関係者に土地利用の予定や意見などの情報収集を行う予定であると聞いている。

また、常田・赤岩区では協議会を再構築し、4月以降に総会を行う予定と聞いている。

長野県とは、小諸市と佐久建設事務所において市全体の県施設に対し事業要望と現地調査を行っている。三岡3区と和田区による「佐久平駅アクセス道路新設整備促進協議会」と協議を行っていることを伝えた。

建設事務所からは、一定の方向性が見えてきた段階で具体的な協議を行いたいとの回答を得ている。地元の協議会は、昨年6月の協

議会設立後以降、小諸市・佐久市および佐久建設事務所への要望活動が実施されている。

この事業は、市をまたぐ広域的な道路整備であり、今後佐久市との協議においてルート案を具体的に検討していくにあたっては、市境の接続箇所の位置が重要なポイントになることから、現在協議会の皆さまと複数のルート案について現地の状況を確認しあい、検討を進めている。

市としては重要な道路整備と位置付けており、引き続き佐久市との情報共有を図りつつ、県や協議会と協議をすすめていく。



小諸市につなげたい、佐久平の道路



「日本一の防災都市」を目指して

楚山伸二

質問

東日本大震災から8年が経つ。

南海トラフ巨大地震などの災害が想定外のものではなく身近に起こりうると認識した上で、当市の防災教育には「助けられる人から、助ける人へ」といった能動的な考え方は位置付けられているか。

教育長

防災教育は、子供たちの生きる力を育む「安全教育」の一環として取り組んでおり、各校では複数回の避難訓練等を行っている。災害時のボランティア活動の大切さについて理解を深め、社会の一員として貢献できるよう取り組みを



昨年行われた総合防災訓練の様子

進めていきたいと考えている。

質問

各自治会に置かれている「自主防災組織」の運用面の支援方法として、身近に起こりうる災害を想定したDVDの制作や、各公民館を使って避難所体験などを行う「防災キャンプ」の実施の支援などについての対応はどうか。

市長

この地域は災害が少ない、災害に対する認識が甘いという現状に対して、もっと想像力を働かせて深めた訓練が必要と考えている。ケーブルテレビの「市長の部屋」の中でも防災について取り上げているが、全て行政任せでなく、命は自分で守る、地域で助けるというメッセージを伝えるDVDが出来るようなら検討していきたい。

危機管理課長

区などで防災キャンプを実施するような場合には、物資や費用・資機材等の補助制度があるので、有意義な訓練に活用していただきたい。



小諸市の生活支援体制の状況は

高橋充宏

質問

生活支援コーディネーターの配置と協議体の設置状況はどうか。

市長

第一層の協議体を地域包括ケア推進会議に設置、第二層をそれぞれの中学校区に設置しコーディネーターを配置している。地域で活用できる資源、地域の課題、不足しているサービスなどを拾い出し、地域の関係者、団体とともに、住みなれた地域で安心して生活できる体制づくりを進めている。

質問

在宅サービス調整会議の活動状況はどうか。

市長

会議は、毎回100名近くの保健、医療、福祉サービスの提供者及び民生児童委員、介護予防ささえ愛サポーターが参加し、顔の見える関係づくりを通して、支援者間のネットワークを強化し、事例検討や学習会、参加者が自分たちで行えることを検討し、地域包括ケアシステムの推進に努めている。

質問

介護予防ささえ愛サポーターの活動状況はどうか。

市長

今年度は、地域で活動をしていくための実践研修を開催し、実人数17名の参加があった。現在、サポーターとして19名の登録があり、地元の公民館などで行う健康達人区らぶや、介護予防地域交流事業などを中心に活動している。「市などで企画する事業や他地区での事業へも協力したい」とするサポーターも多くいることから、今後の市が推進する介護予防事業の大きな一助になると期待している。



介護予防ささえ愛サポーター実践研修



重要伝統的建造物群保存地区制度の導入

小林 一彦

質問

旧北国街道沿いの街なみへの重要伝統的建造物群保存地区制度の導入について検討状況はどうか。

市長

「重伝建制度」導入については、昨年11月に本町まちづくり推進協議会、本町区、城下町にぎわい協議会の皆様から、北国街道を軸とした観光商業おこし、まちづくりの手法の一つとしてご要望をいただいた。

そこで、小諸市文化財保護審議会において議題にしたところ、過去に実施してきた街なみ整備事業の一環として、旧北国街道沿いの街なみについて調査した経過があり、国指定重要文化財や国登録有形文化財なども点在することから、まずは文化庁調査官に現地を見ていただいているから、保存対策調査に着手したほうがよいとのアドバイスをいただいた。

現在、長野県教育委員会を通じて、文化庁調査官と日程調整を行っており、調査官の現地調査結果

を踏まえ、今後の対応を検討してまいりたい。

質問

重伝建制度の導入によって、ハード、ソフト両面で町全体に磨きをかけていくことが可能となる。市長にはこの重伝建制度の導入制度に向けて前向きにリーダーシップをとっていただきたいがどうか。

市長

本町区の皆さんの気運の高まりがうかがえる。ハード面だけでなくソフト面も含めた期待ができるので、地域の皆さんとしっかり協議をして、検討をして前に進めるようにしていきたい。



歴史的建物が残る本町



市民ひろばの一部を乗降場所にできないか

清水喜久男

質問

市役所・図書館・医療センターの併設が不評ということではなく、むしろ使いやすいという声が多いことは認識している。しかし、多くの人の意見を聞いて机上で設計しても実際に使用してみると不便な点も見られるので、改善できる箇所は改善し使用する方の利便性の向上を図るべきとの考え方で2カ所の改善について質問する。

①市民ひろば（医療センター前）に乗降用の停車スペースを増やすことはできないか。

②西駐車場屋上からはフラットで医療センターまで来れるが、屋根がないので雨の日は大変である。簡易な屋根の設置はできないか。

建設部長

①医療センターへ通院する方への対応は、市民ひろばは医療センターと協議して設計したものなので、乗降用スペースを増やす点については医療センターに確認した中で状況により協議する。

②空中通路（市道の上部）につ

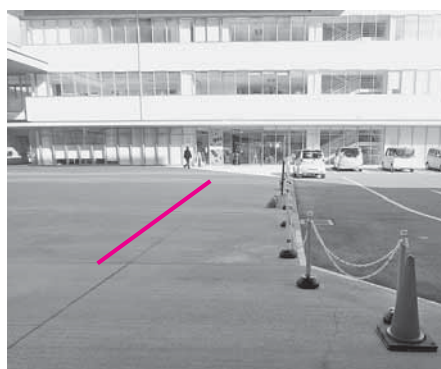
いては市長答弁のとおり法令上の問題で困難である。空中通路以外については簡易な屋根を設置する場所もあると思うが、簡易な屋根では強風で壊れる心配もあるので、利便性を高める研究をしたい。

質問

2020年から小学校英語教科化に伴う英語の資格を持った小学校教諭を増やす等の対応はどうか。

教育長

小諸市では平成28年度から英語教科化と同じ授業を行ってきたので、英語資格を持った教諭を増やすことなく担任教諭の意欲も指導力も着実に向上している。



市民ひろば（ライン右を乗降場所に）

個人質問



技術職員を最優先で採用すべき

丸山正昭

質問

今後大型事業を抱える中、技術職員を優先して採用すべきではないか。

市長

現在、技術職の職員数は管理職を含め、土木技師が25名である。

土木技師については、毎年、退職者の補充を基本に職員募集をしてきたが、応募者数も非常に少ないことから、追加募集や年齢制限の拡大等により職員の確保に努めてきたところである。しかし、残念なことに応募者もごく少数であり、採用までに至る受験者がいなかったり、合格しても辞退されることもあった。大型事業を抱える中で技術職の必要性を感じているところであり、現在の数では不足していることと認識している。

土木職に限らず、建築士も必要と考えているので、事務処理の効率化と改善を絶えず意識するとともに、人材育成による少数精鋭を基本としつつも、早目の募集周知と土木・建築関係の学校などへの

働きかけを強め、引き続き技術系職員の確保に努めていく。

質問

公有財産で使用していない建物には、どのようなものがあるか。

市長

使用していない施設として把握しているものは、募集停止した市営住宅や閉館したこもろ真さん会館等である。貸し付けにより有効活用を図っている空き施設として、旧やすらぎ会館や旧社会福祉会館、旧御影出張所などがある。



旧社会福祉会館



野良猫不妊去勢手術の今

田中寿光

質問

病児病後児保育施設とファミリーサポートセンターの業務委託による運営計画はどうか。

市長

複合型中心拠点誘導施設に子育て支援施設として整備する。それぞれ併設する他の福祉施設と一体的な運営を行うことで、効率的、効果的また持続的な施設運営ができるよう、委託する事業者と施設レイアウトや運営計画について検討、協議を進めている。

質問

野良猫不妊去勢手術の補助制度についてのクラウドファンディングの考え方はどうか。

市長

補助制度については、近年野良猫が増加し、糞尿や悪臭等による生活環境上の被害が増加していることから、野良猫の減少を図ることを目的に取り組む事業である。財源については、クラウドファンディングによる確保を計画しており、既に実施済みの自治体におい

ても一定の成果が出ていることから、同様に取り組みをスタートしたいと考えている。

質問

管理不能な森林の管理システムの構築はどうか。

市長

地域の実状に応じて優先順位を決定し、意向調査を行う時期などを定めた実行計画を作成することとなる。森林所有者への移行調査を実施し、適正な森林管理に努めていく予定である。貴重な財源を有効に活用し、さらには森林整備が適切に行われるよう準備を進めていく。





全ゆるジャンルで「音楽のまち・こもろ」を
福島鶴子

質問

「音楽のまち・こもろ」を一過性なものにしない為、総合計画の中での位置づけはどこにあるか。

市長

「まちづくり」の柱である「心豊かで、自立できる人が育つまち」を目指すとしている。

質問

「まちづくり」を成功させるには、そのまちの歴史や風土に根づいている事が重要。小諸は何か。

市長

日本で最初に音楽の教科書を作成した神津専三郎氏は小諸市出身であり、島崎藤村はじめゆかりの作詞家が多く「音楽のまち」の土壌があった。

質問

そうした土壌を活かし、新たな魅力につなげる考えはどうか。

市長

「音楽のまち・こもろ」推進市民会議を開催し、個々の団体の取り組みについて、情報共有を図り、全ゆるジャンルの音楽関係者の活

動に対し「音楽のまち・こもろ」の推進につなげたい。

質問

小諸ゆかりの音楽として、民謡がある。かつて、小諸で「小諸馬子唄」や「小室節」の全国大会が行われ、各地から多くの人が集まり、小諸に泊まり、小諸を感じていただいた。これをどう思うか。

市長

発祥の地と言われる小諸市として大切にしたいと考えている。

意見

馬子唄、小室節とも指導者の高齢化等により衰退している。行政として拾い上げ、底上げを望む。

立派なホールや名器は無いけれど
小諸を“音楽のまち”にしましょう
音楽は人の心をつなぐ
エッセンスだから・・・



環境政策と、災害に強いまちづくりのために
柏木今朝男

質問

気候変動適応法の施行に伴い、地域気候変動適応計画についての小諸市の対応はどうか。

市長

本法律の施行により、具体的な適応策策定の検討を始めたところであり、SDGs（持続可能な開発目標）による施策の推進を基本とし、2022年度に改定予定の第3次環境基本計画との整合性を図りながら、実行性のある計画の策定へ向け検討を進めていきたい。

質問

災害に強いまちづくりのために「地区防災計画」が必要であり、モデル地区に専門的知識人を派遣し策定を進め、全区へ紹介。作成マニュアルと市の支援で3年計画で全地区策定を提案するがどうか。

市長

来年度予定の自主防災に関するアンケート調査で区独自の計画を把握したい。モデル地区は良いアイデア。策定は区単位か旧村単位も含め今後の検討課題としたい。

質問

2年前に質問した「避難所運営マニュアル」作成の必要性について、その後の対応はどうか。

市長

素案を作成したところであり、今後、区等で素案に基づく避難所開設訓練を実施し取りまとめ、来年度の防災会議で意見聴取後、避難所運営マニュアルを策定したい。

質問

災害時の備蓄品として、有用性の高い乳児用液体ミルクはどうか。

市長

導入や活用については、今後の状況を見ながら研究していきたい。



個人質問



小諸の将来に向けて

田邊 久夫

質問

少子高齢化に対応したまちづくり、地域づくりをどう考えるか。

市長

特に少子高齢化に直接対応した政策としては、将来を担う子どもたちが少ない人数でも集団の中で心豊かにすくすく育つ、子育て・教育環境のハード・ソフト両面からの充実、皆が健康に関心を持ち健康づくりを実践できる環境づくり、互いに支え合い、誰もが安心できる福祉環境の整備、高齢者が住み慣れた地域で安心して生き生きと暮らせる地域づくりを推進していく。

質問

高地トレーニング推進をどう考えるか。

市長

浅間南麓高地トレーニングエリア構想、小諸市構想推進基本方針により、市民の健康づくり、アスリートの合宿誘致、施設整備の3本柱を基本方針とすることとしている。



福祉施設などが入る複合化施設建設予定地

事前合宿誘致も意識し推進協議

会の進める地域づくり、健康づくりに力を入れていく。

質問

施政方針の中で国内トップの高地トレーニング場としての地位を確立したと言った根拠は。

市長

2千メートル・千メートルまたゴルフ場の中でも走ることができるよう様々なメニューが可能だという環境で、アスリートの皆さんから選ばれているという点では十分確立できている。



高すぎる国保税、子どもの均等割りを無くせ

早川 聖

質問

協会けんぽと比較すると、国保が高すぎると思うがどうか。

市長

一概に比較はできないが協会けんぽの方が安いことは分かる。

質問

宮古市は、昨年12月議会で共産党から子どもの均等割減免の要望に対して、2019年度予算案に子どもの均等割免除を計上した。

全国の自治体に広がっている減免制度は第3子からの全額免除や子どもの3割減免などが主で、同市の制度は全ての子どもの均等割を全額免除する完全免除である。財源は、一般会計からの繰り入れ、ふるさと納税のうち「市長におまかせ」分から充てるもので、小諸市でも前向きに検討してほしい。

市長

ふるさと納税を使って、高校生までの医療費の窓口無料化等やってきた。他の事業とも色々考えなければいけないので、即答は控えさせていただきます。

質問

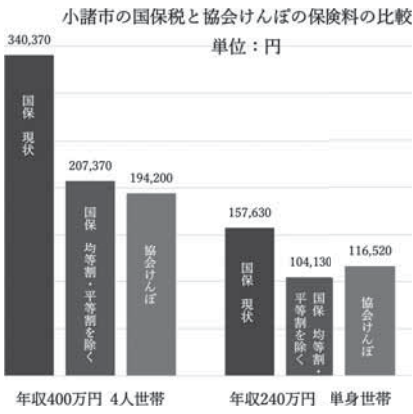
即答は避けるとの答弁は残念だが均等割制度は、市長の目指す子育てしやすい社会環境を目指す方向から逆行するものではないのか。

市長

国保加入世帯が低所得化する一方で、保険料は増加をしていく構造的な問題が課題。自治体も独自の減免措置や公費投入を行うことが国民皆保険制度を守ることに必要。国民の命を守る制度にするのが重要だ。せめて、平等割は自治体独自の判断で導入することも可能。ぜひとも検討してほしい。

市長

民生部とも相談させていただく。





無投票の課題解決に向けた取り組みを!!
神津眞美子

質問

小諸市始まって以来、初めての無投票となった市議会議員選挙をどのように受け止めたか。

市長

市民の皆様の政策選択、並びに市政参加の機会が失われたという意味で、残念の一言に尽きる。

質問

人口減少が進み、厳しい財政状況を展望したこれからの新しい公共を考えるときに、参加と協働を推進していかなければ、小諸市の持続可能性は危ういと考えるがどうか。

市長

市民、行政、議会、それぞれの主体が自覚と責任を持って参加していくということが基本ではないかと思う。

質問

市長には市民と協働する市政の礎を築いていただきたい。平成31年度は第11次基本計画を策定していくが、市民参画を仰ぐことはできないか。第5次基本構想策定の



第5次基本構想策定の風景

プロセスに関わった市民は、市政が身近なものになって、他人事だった市政が自分事として実感できたように思う。こうした取り組みを継続していくことが市民の意識づけになっていくと考えるが、どうか。

市長

続けていく中で、市民の市政に参加する意識を醸成していくことは大変重要だと考える。

企画課長

手法はこれから検討するところだが、基本的に市民参加を進めていければと思う。極力声をお聞きできるように考えていく。



太陽光発電設備設置の現況と取組みはどうか
中村憲次

質問

行政プロジェクトチームによる、ガイドライン見直しと指導要綱制定については設置規制になるか。

市長

4月1日より施行する見直しガイドライン等により業者への対応が厳しくなり、業者への適切な指導が出来るかと考える。改善が図られない場合には指導要綱に従って経済産業省へ通告をして、業者の認可取り消しもある。50KW未満でも地域の要望により、地域説明会、協定書締結も義務化された。

質問

業者との協定書締結について自治会区長の責任が重くなり、今後の対応が重要となることが想定されるが、行政が協定書の締結時に三者立会い等の検討は出来ないか。

環境水道部長

地域のそれぞれ地権者等の兼ね合いがあるが、状況によっては区長からの要請により第三者としてアドバイス、サポートをすることも検討したい。

質問

近隣上田市で取り組んでいる条例制定について、小諸市は対応が遅れているが、今後検討課題として取り組んでいく考えはあるか。

環境水道部長

小諸市としても出来れば条例制定に向けてその方向を目指して進んで行きたい。現状では先ずガイドライン、指導要綱等環境条例の実施後、環境条例第4条にあるように、近隣市町村との連携をはかって取り組むという市の責務も記されているので、情報交換をすすめて取り組んでいきたい。



浅間山の見える景観

6月定例会のご案内 ～傍聴をお待ちしております～

6月定例会の日程（予定）

月	火	水	木	金	土	日
5 / 27 本会議（提案説明等） 予算決算委員会	28	29	30	31	6/1	2
3	4 本会議（一般質問）	5	6	7 総務文教委員会・分科会	8	9
10 市民福祉委員会・分科会	11	12 産業建設委員会・分科会	13	14	15	16
17	18 予算決算委員会	19	20	21 本会議（委員長報告等）	22	23

6月定例会の予定をお知らせします。予定のため日程が変更になる場合があります。開議時間は概ね9時です。詳しくは、議会事務局22-1700(代)へお問い合わせください。

「議会とかたる会」を開催します

今年度の「議会とかたる会」は、7月上旬に開催の予定です。

現在、開催に向け準備中で、日程等決まり次第、ホームページやチラシ等でお知らせします。

委員会を傍聴してみませんか

小諸市議会では、本会議だけでなく各常任委員会も傍聴することができます。

ぜひ傍聴にお出かけください。

用語の解説

- **分科会**……議案などを分担して審査するために設置される組織をいいます。小諸市議会では、予算決算委員会で、部門別常任委員会と同じ構成の3つの分科会を設置しています。
- **討 論**……議題となっている案件について、質疑の後、採決の前に、賛成か反対かの意見を表明することをいいます。
- **付帯決議**……議案を議決するにあたり、議会の希望意見として付するものをいいます。法律的な拘束力はなく、行政はこれを尊重することが求められます。

名称が変わりました

市の組織機構の変更に伴い、次の市議会常任委員会の名称が変わりました。

- * 旧 福祉環境委員会
→ 新 市民福祉委員会
- * 旧 経済建設委員会
→ 新 産業建設委員会

・総務文教委員会の名称は変わりません。



ぼいす

第8回

キラキラ★小諸人 小諸キッズレスリング クラブの皆さん

小諸市総合体育館で行われている、小諸キッズレスリングクラブの練習を訪ね話を伺いました。

Q1 どんなクラブですか。

幼児から小学生の約20名が所属しています。中学生以上のOBも交じり、コーチ指導のもと、週2回の練習をしています。当クラブは、平成元年にスタートしてから今年で30年を迎えました。現在では、世界や全国で活躍する選手を輩出するまでになりました。

Q2 選手に期待するところはありますか。

強い選手に育って欲しいですが、それ以上にレスリングを好きになり、長く楽しく取り組める選手に育って欲しいです。

また、レスリングは体力、精神力、礼儀が身につくスポーツです。練習や試合を通じて、これらを身につけて欲しいです。そして、2020年には東京オリンピックがあります。現在、活躍している小諸キッズレスリングクラブ出身選手が、オリンピックで活躍してくれることを期待しています。

Q3 今後の目標を教えてください。

2027年、長野県国体が開催される予定もあります。そして、小諸市総合体育館は、レスリング会場の選定候補地になっています。

現在の小学1〜3年生がその時、高校生になります。国体選手を目指し、この小諸の地で活躍でき

るように、練習に取り組んでいきます。

Q4 小諸市に期待することはありますか。

現在、練習で使用しているマットは、昭和53年のやまびこ国体で使用されていたものです。クラブ設立より、これを使用させていただき、市に感謝しています。

そして、これから国体に向け、レスリングが市全体で盛り上がるように応援していきたいです。



「タックルは頭を上げて!」

傍聴席



諏訪山区
山田富美子 さん

小雨が降る中、私は人生初の議会傍聴をさせていただきました。

地を設置されています。私の住んでいる諏訪山区にも発電所設置計画が多数あり協議中です。前回の議会で、行政が市民よりも業者側により配慮している感じを受け、現在の行政の姿勢が知りたくて議場に伺いました。今回議員の質問に対して、市長はじめ担当窓口だけでなく市役所全体でこの件に取り組み、地域住民の意見も聞きガイドラインも見直して下さったとの事。又法的拘束力とを伴う条例制定に向けて検討していきたいという心強い答弁をお聞きして本当にうれしく思いました。林地の乱開発、使用済パネルの処理等まだまだ難問はたくさんあると思いますが、行政と地域住民そして業者が知恵を出しあえばきっと解決すると確信できました。今回傍聴させていただきました。議会も市も市民の事をしっかり考えて下さっている事がよくわかりました。又伺いたいです。

編集後記

この冬は、それにしても雪が少なかったですね。春の訪れもいつになく早く感じられます。この議会だよりが届く頃は、花見シーズンも終わっているかもしれません。さて、この議会だよりの発行作業は結構大変なのです。8名の議員と議会事務局で編集、発行作業をしております。何が大変かというと、2週間で印刷会社へ発注しなければならず、時間が限られているからです。定例会の概要、人事案件等の編集や議案の審査結果、そして何よりも大変なのが、各議員の一般質問の原稿依頼後の校正作業です。一字一句確認後、2回に渡り校正し、紙面の割り付けや特集、概要ページなどを決めてやっと校了です。市民の皆様へ届くのに一カ月かかります。もっと早く届けたいと思っていますが、大変な時間と労力をかけているのが現実です。どうか道端で議員を見かけたら、「議会だより見たよ」と声をかけてくれたらうれしいです。

(寿)

印刷/三夕印刷サービス株式会社